

第2期高知市まち・ひと・しごと創生総合戦略における 数値目標の進捗状況及び総合戦略の改訂の概要

数値目標の進捗状況

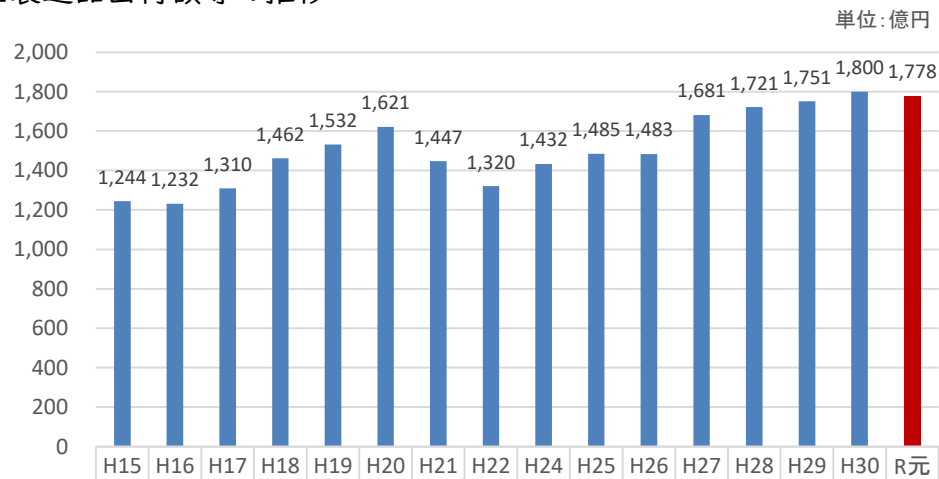
■基本目標Ⅰ 地産外商、観光振興等による産業活性化と安定した雇用の創出

数値目標	基準値	直近値	目標値	備考
個人市民税納税義務者数	149,614人(R元年度)	149,870人(R2年度)	147,900人(R6年度)	出典:令和2年度市税統計
個人市民税納税義務者の総所得金額	4,406億円(R元年度)	4,449億円(R2年度)	4,433億円(R6年度)	出典:令和2年度市税統計
製造品出荷額等	1,751億円(H29年度)	1,778億円(R元年度)	1,933億円(R5年度)	出典:経済センサス,工業統計調査
県外からの観光入込客数	331万人(H30年)	200万人(R2年)	347万人(R6年)	出典:県外観光客入込動態調査報告書

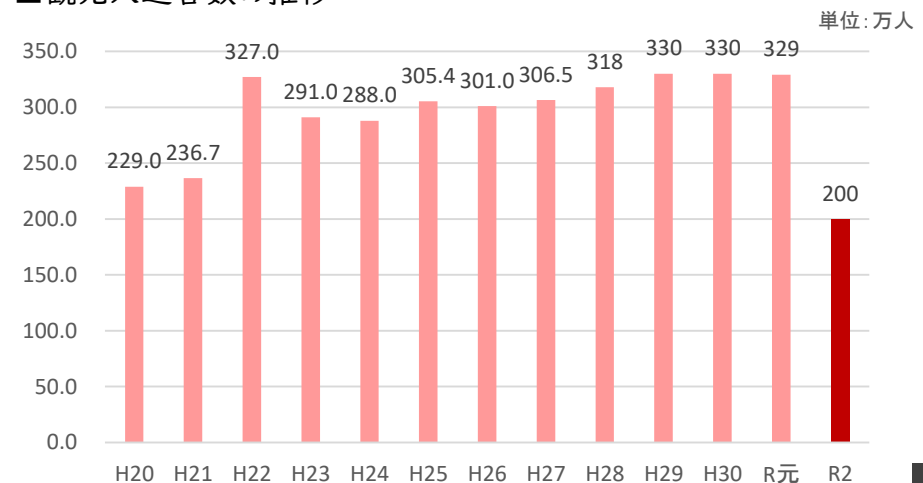
■KPI(抜粋)

KPI項目	基準値	R2目標値	R2実績値	R6目標値	現状分析と今後の対応等
就職者数 (雇用促進事業による新規就職者数 (合同面接会を含む))	109人 (H30年度)	100人	70人	142人 (R6年度)	新型コロナウイルス感染症の拡大により、就職支援に係るセミナー等が予定どおり開催されなかったことなどが影響していると考えられる。 今後は感染症対策を講じながら、収束後の雇用状況を見据えた就職支援を実施予定。
市内企業の有形固定資産投資総額 (従業者30人以上の事業所の有形固定資産投資総額)	558,205万円 (H29年)	975,833万円 (H30年)	852,121万円 (H30年)	975,833万円 (R5年)	目標値に達しなかったものの、達成率は80%以上となり、前年値に比べ増加している。 今後は新型コロナウイルス感染症の影響により業績が悪化している市内中小企業者等に対し、生産性を向上させる先端設備等を取得する費用の一部を補助することにより、本市地域経済の早期回復及び発展を図るとともに、今後必要な施策等の検討を図る。
外国人延べ宿泊者数	4.9万人泊 (H30年度)	10.8万人泊	1.0万人泊	23.5万人泊 (R6年度)	新型コロナウイルス感染症の影響により、インバウンドの回復までには時間を要することが考えられるが、ウィズコロナ・アフターコロナ下において、国外からの観光客数が回復したときに備えて、観光資源の磨き上げや受入態勢の充実化等を積極的に継続していく。

■製造品出荷額等の推移



■観光入込客数の推移



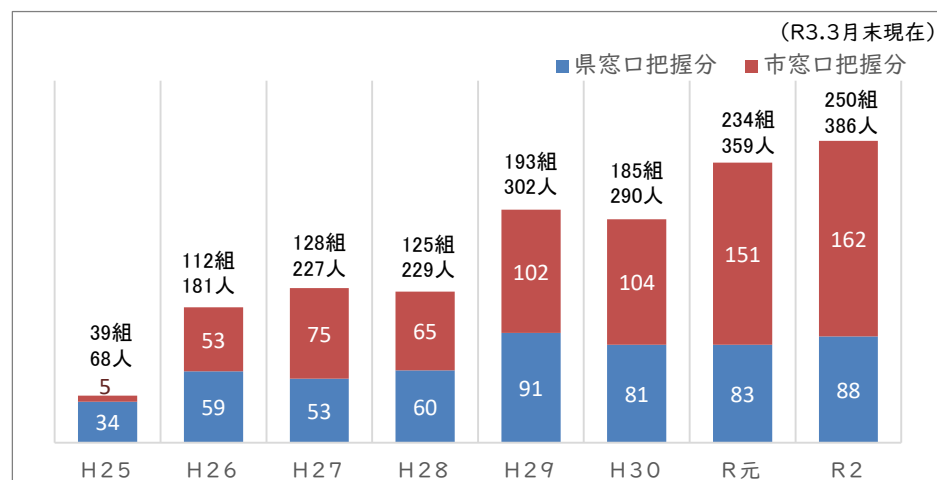
■基本目標2 新しい人の流れをつくる

数値目標	基準値	直近値	目標値	備考
県外からの移住組数	185組 (H30年度)	250組 (R2年度)	200組以上 (R6年度)	高知市調べ
15～24歳の県外への転出超過数	752人 (H30年)	800人 (R2年)	300人 (R6年)	出典:住民基本台帳

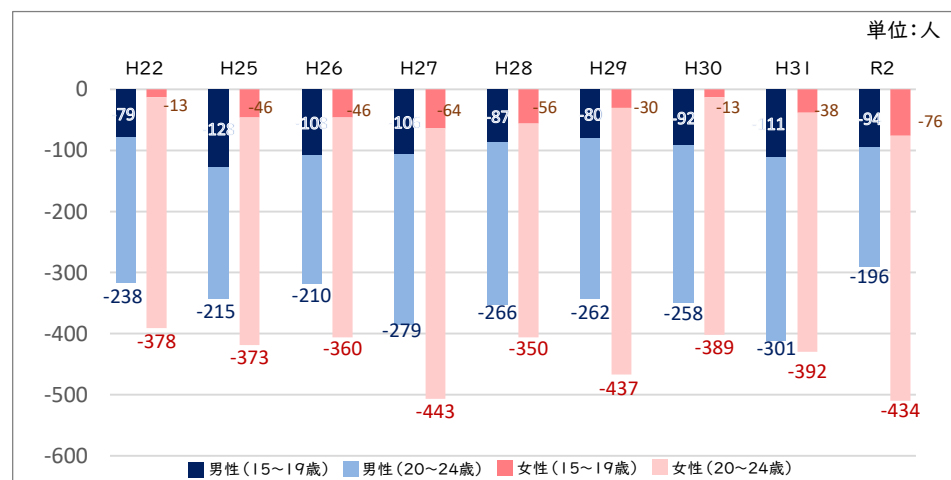
■KPI (抜粋)

KPI項目	基準値	R2目標値	R2実績値	R6目標値	現状分析と今後の対応等
県外からの移住相談件数	263件 (H30年度)	300件	176件	360件 (R6年度)	新型コロナウイルス感染症の影響により、県外での移住相談会が中止となったことから、オンラインでの相談受付を開始したものの、全体の相談件数は減少した。 今後は、相談件数を増加するための方法(オンライン相談会など)について検討する。
移住者の定着率	81.3% (R元年度)	100%	85.7%	100% (R6年度)	令和元年度より定着率が増加し、目標達成に向けて順調に進捗している。 コロナ禍においても実施可能な定住支援の取組を引き続き図っていく。
包括連携協定に基づく連携事業のうち 地方創生に資する取組事業数	210件 (R元年度)	210件以上	209件	210件以上 (R6年度)	庁内において包括連携先の大学との連携希望調査を1～2か月の頻度で実施し、一定程度新規の提案をしており、民間企業についても、令和2年度新たに包括連携企業が1社増加している。 一方で、新型コロナウイルス感染症の影響で、事業の調整や実施が滞った場面もあった。 引き続き定期的なニーズ調査を行いつつ、包括連携協定先と密に連携を図り、ウィズコロナ・アフターコロナに対応した事業の進め方等を検討するなど、地方創生に資する事業を推進する。
こうちこどもファンドの助成を受け、助成後も継続している事業数	20団体 (H30年度)	25団体	25団体	37団体 (R6年度)	学校や地域団体の個別訪問によるニーズの掘り起こしを図るとともに、マスコミへの情報提供等を積極的に行い、制度の周知拡大に努めた。 令和3年度は公開審査会をリモートで行うなど、コロナ禍での事業実施に向け取り組む。

■県外からの移住組数の推移



■県外への転出入超過数の推移 (15～24歳)



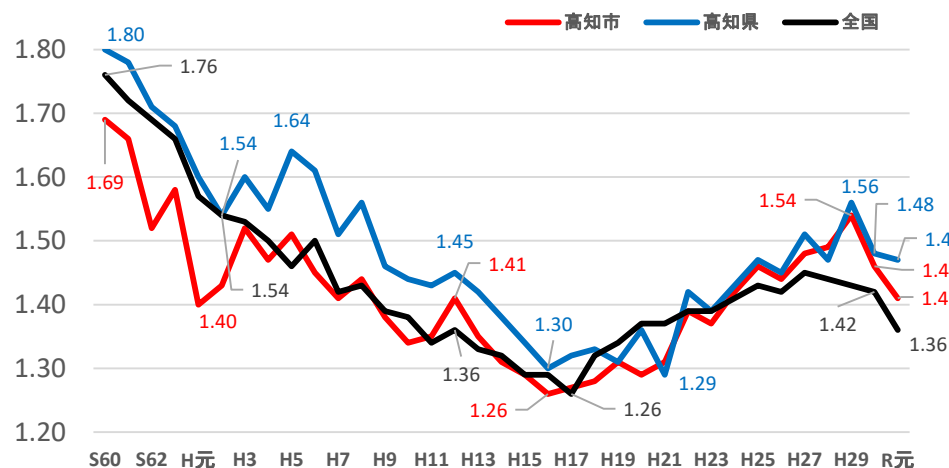
■基本目標3 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望を実現する、女性の活躍の場を拡大する

数値目標	基準値	直近値	目標値	備考
合計特殊出生率	1.54 (H29年)	1.41 (R元年)	1.74 (R6年)	出典:厚生労働省 人口動態統計
出生数	2,415人 (H30年)	2,170人 (R2年)	2,300人 (R6年)	出典:住民基本台帳

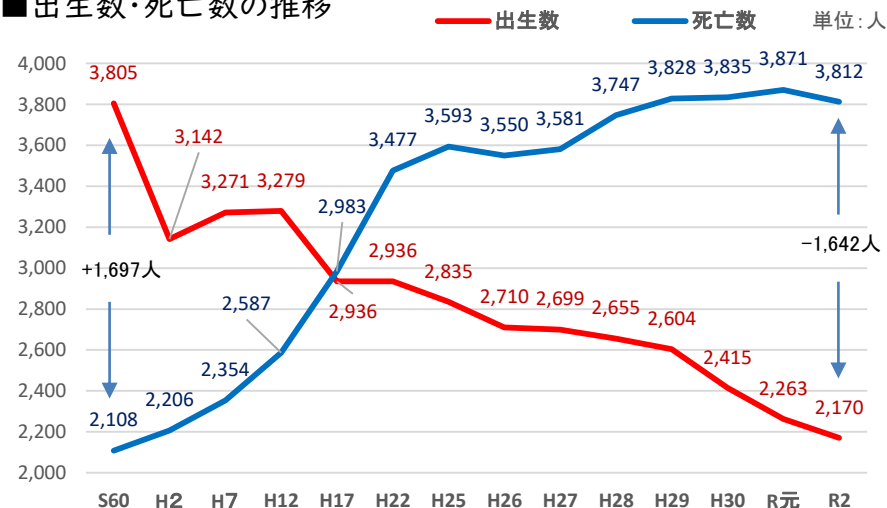
■KPI (抜粋)

KPI項目	基準値	R2目標値	R2実績値	R6目標値	現状分析と今後の対応等
理想的な子どもの数と現実的に持ちたいと考えている子どもの数との比率 (市民意識調査による)	87.2% (H30年度)	88.0%	86.2%	88.0% (R6年度)	令和3年3月には東部地域に3か所目の子育て世代包括支援センターを開設しており、令和3年4月からは全妊婦との面接により、支援が必要な妊婦を早期に把握し支援していきけるよう相談支援体制の拡充に努める。 医療機関との連携を引き続き図り、必要な方には妊娠期からの支援や母体管理を行っていく。また、早産予防のための妊娠中の健康管理や、産後うつ等の予防のための知識の普及や啓発を、母子健康手帳交付時やパパママ教室等の様々な機会を活用して取り組む。 妊産婦の家庭や地域における孤立感を軽減し、安心して妊娠期を過ごし、子育てに臨めるようにサポートすることを目的とする地域の仲間づくりやサービスの提供等に向けて取り組む。
待機児童数	34人 (R元年度)	0人	11人	0人 (R6年度)	地域によって保育ニーズに差があり、需要のある地域の保育供給量の不足や平成29年度から国の待機児童の定義の見直しにより待機児童数が増加した。地域ごとに保育ニーズの将来的な展望を見据えて定員の見直しや、計画的な施設整備により保育供給量の確保に努めたものの、特定の地域で予想を上回る保育ニーズがあった。 今後も、地域ごとに保育ニーズの将来的な展望を見据えて定員の見直しや、計画的な施設整備により保育供給量の確保に努める。
性別に関係なく、能力を発揮できていると感じている市民の割合 (市民意識調査による)	38.5% (H30年度)	40.8%	33.5%	39%以上 (R6年度)	学校教育では男女平等意識が高い水準である一方、社会に出て根強い固定的な役割分担意識に直面し、男女平等意識が下がる傾向にあると考えられる。多様な性の尊重とジェンダー平等について、こうち男女共同参画センター「ソーレ」等と連携し効果的な啓発に努める。

■合計特殊出生率の推移



■出生数・死亡数の推移



数値目標	基準値	直近値	目標値	備考
今後も高知市に住み続けたいと思う市民の割合	91.3% (R元年度)	90.8% (R2年度)	93.0% (R6年度)	出典: 高知市民意識調査

■KPI (抜粋)

KPI項目	基準値	R2目標値	R2実績値	R6目標値	現状分析と今後の対応等
地域住民が助け合っていると思う市民の割合 (市民意識調査又は地域福祉に関するアンケート調査による)	26.9% (H30年度)	－	38.7%	50.0% (R6年度)	意識, 行動変容には一定の期間を要するが, 2年間で10ポイント以上増加した。コロナ禍で, これまで日常的に行われてきた活動ができなくなり, 社会的孤立・孤独の問題が浮き彫りとなった反面, 地域での助け合い・支え合いの住民意識は, 地域福祉の推進により高まった可能性が考えられる。 社会的孤立・孤独や, 貧困, 就労, 住まいの問題等は, 今後より深刻となることが想定されることから, 引き続き, だれもが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう, 地域住民が主体的に課題を把握し, 解決することができる環境づくりや, 助け合い・支え合いの意識醸成のための啓発, 包括的な支援体制の構築などに取り組む。
地域の伝統行事や祭り, 食文化などに愛着を持っている市民の割合 (市民意識調査による)	69.3% (H30年度)	69.0%	65.4%	69.5% (R6年度)	新型コロナウイルス感染症防止対策のため, 多人数での会合や飲食等が制限されたことが, 当該意識にも影響を与えたものと考えられる。 新型コロナウイルス感染症対策を進めながら, 引き続き地域の伝統行事や祭り, 食文化の保存・継承に関わる事業の実施や補助を継続し, 市民の当該文化に対する愛着を深めていく。
公共交通利用率	7.84% (H29年度)	7.84% (H30年度)	7.88% (H30年度)	7.88% (R4年度)	分かりやすいバス路線への再編や低床車両の導入などの利用環境の整備を実施するとともに, SNSによる情報発信などにより利用促進を図り, 公共交通の活性化を図る。 すべての関係者が協働で公共交通の維持・確保に取り組めるよう, 令和3年度に高知市交通基本計画, 高知市地域公共交通計画を策定する。
居住誘導区域内の人口 (区域は立地適正化計画で規定)	27.9万人 (H28年度)	27.6万人	26.8万人	27.4万人 (R6年度)	目標に対して9割以上の達成率であった。令和3年度に立地適正化計画の見直しを行い, 集約型都市構造の実現に向けた各施策を実施するとともに, 今後も引き続きコンパクト・プラス・ネットワークに向け取り組む。

■KPI達成状況 (全体)

	達成率 (R2実績値／R2目標値)	全体	基本目標1	基本目標2	基本目標3	基本目標4
達成	100%以上	10 / 47	0 / 12	3 / 9	2 / 7	5 / 19
未達成	80%以上～100%未満	21 / 47	6 / 12	3 / 9	2 / 7	10 / 19
	50%以上～80%未満	11 / 47	4 / 12	2 / 9	1 / 7	4 / 19
	50%未満	5 / 47	2 / 12	1 / 9	2 / 7	0 / 19

※ KPI項目数(47)は令和2年度未集計分を除いた数値

高知市の人口推移

■住民基本台帳(4月1日現在)

2019(平成31)年	2020(令和2)年	2021(令和3)年
328,283人 (-0.53%)	-2,577人 325,706人 (-0.78%)	-2,162人 323,544人 (-0.66%)

カッコ内の数値は前年比

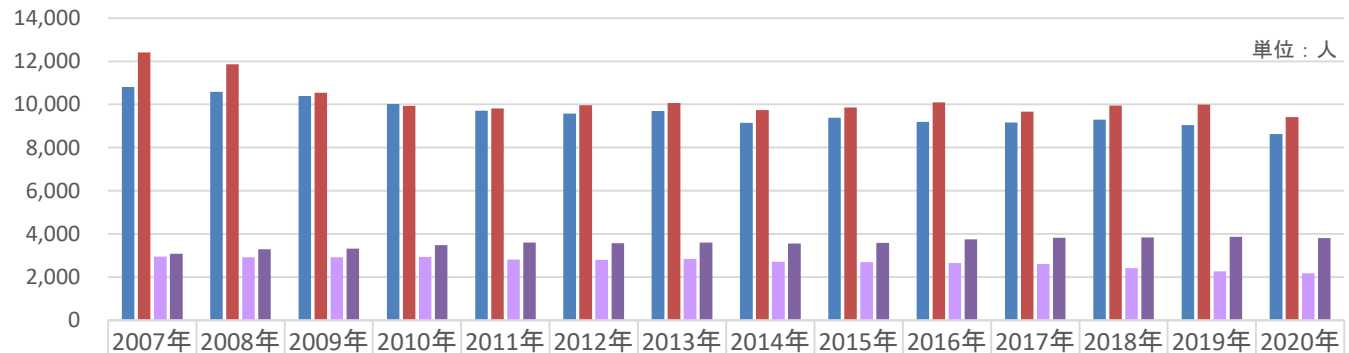
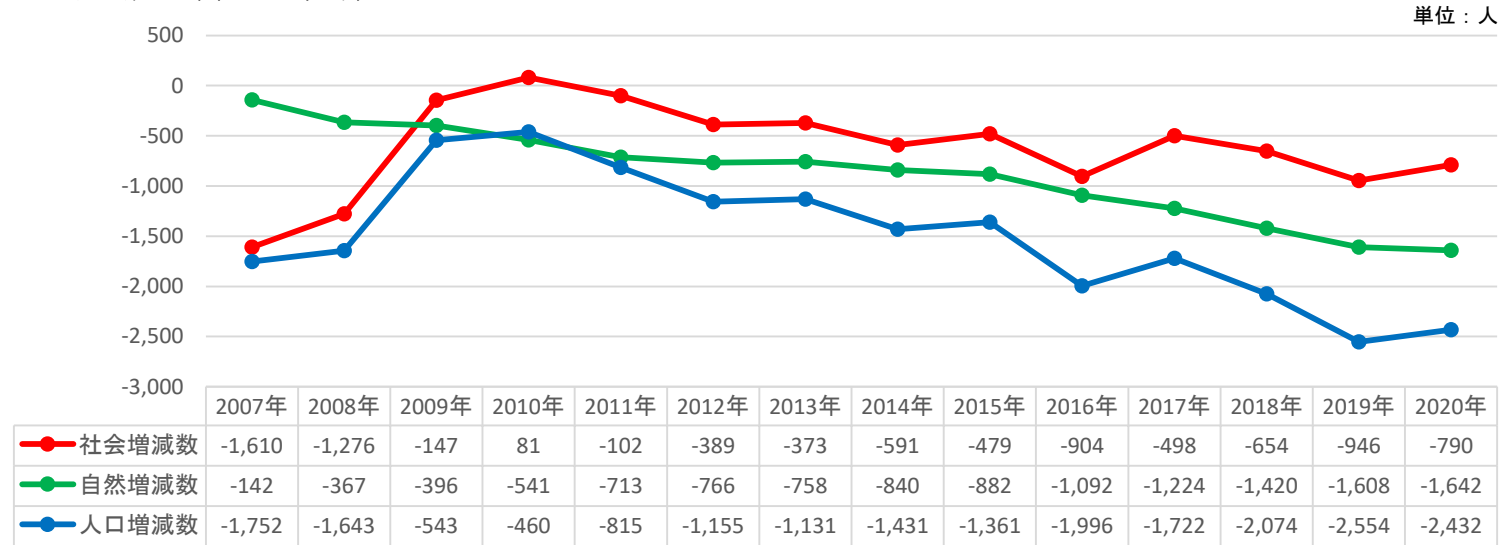
■国勢調査(10月1日現在)

2010(平成22)年	2015(平成27)年	2020(令和2)年(※)
343,393人 (-1.60%)	-6,203人 337,190人 (-1.81%)	-10,376人 326,814人 (-3.08%)

※ 出典:令和2年国勢調査 高知県の人口速報集計結果(令和3年4月23日)

カッコ内の数値は前回比

■高知市人口動態の推移(県内+県外)



社会動態	社会動態 転入者数	10,805	10,577	10,392	10,017	9,710	9,578	9,699	9,143	9,378	9,183	9,159	9,295	9,044	8,626
	社会動態 転出者数	12,415	11,853	10,539	9,936	9,812	9,967	10,072	9,734	9,857	10,087	9,657	9,949	9,990	9,416
自然動態	自然動態 出生児数	2,940	2,914	2,920	2,936	2,815	2,801	2,835	2,710	2,699	2,655	2,604	2,415	2,263	2,170
	自然動態 死亡者数	3,082	3,281	3,316	3,477	3,593	3,567	3,593	3,550	3,581	3,747	3,828	3,835	3,871	3,812

まち・ひと・しごと創生総合戦略(2020改訂版) 令和2年12月改訂

新型コロナウイルス感染症を踏まえた地方創生の今後の方向性

- 感染症による意識・行動変容を踏まえた、ひと・しごとの流れの創出
- 各地域の特色を踏まえた自主的・主体的な取組の促進
- ・地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる取組
「地方創生テレワークの推進」や、オンライン関係人口などの「新たな関係人口の創出・拡大」「企業版ふるさと納税(人材派遣型)の創設」などを追加
- ・地域におけるSociety5.0を推進するための施策の方向性
「地域のデジタル・トランスフォーメーション推進による地域課題の解決、地域の魅力向上」を追加

高知県まち・ひと・しごと創生総合戦略(令和3年度版) 令和3年3月改訂

基本目標1:地産外商により魅力のある仕事をつくる

- ・地産の強化
各産業分野におけるデジタル化の加速やアフターコロナを見据えた事業者の事業戦略の策定・実行支援
- ・外商の強化
関西圏との経済連携の強化、ウィズコロナ・アフターコロナへの対応
- ・成長を支える取組を強化

基本目標2:新しい人の流れをつくる

- ・県内高校生等の県内就職の促進
- ・移住の促進

基本目標3:「結婚」「妊娠・出産」「子育て」の希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する

- ・ライフステージの各段階に応じた少子化対策の推進
- ・官民協働による少子化対策を県民運動として展開
- ・女性の活躍の場の拡大

基本目標4:高齢者の暮らしを守り、若者が住み続けられる中山間地域をつくる

- ・中山間地域と都市の維持・創生
集落活動センターの支援拡大、生活用品等の確保に向けた広域連携での支援体制の確立等
- ・住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる県づくり
高知版地域包括ケアシステムの推進、コロナ禍での公共交通の維持など
- ・未来技術を活用した暮らしの質の向上

産業振興計画により推進

第4期産業振興計画における戦略の方向性・重点ポイント

《戦略の方向性》

- 付加価値や労働生産性の高い産業を育む
- ウィズコロナ・アフターコロナ時代への対応

《次の6つの重点ポイントに基づく施策の強化》

- ① 関西圏との経済連携の強化
- ② 各産業分野におけるデジタル化の加速
- ③ 新しい生活様式や社会・経済構造の変化への対応
- ④ 地方への新しいひとの流れを呼び込むための取り組みの強化
- ⑤ 持続可能な地域社会づくりに向け、脱炭素・SDGsを目指した取り組みを促進
- ⑥ 中山間地域での施策の展開を特に意識

第2期高知市まち・ひと・しごと創生総合戦略(2021年度改訂版)の概要

改訂のポイント

- ・ 新型コロナウイルス感染症による意識・行動変容を踏まえた、本市への新しいひと・しごとの流れの創出
- ・ 行政・社会のデジタル化の遅れなどコロナ禍で顕在化した課題や新しい生活様式への対応
- ・ SDGsを原動力とした地方創生の効果的・効率的な推進

令和3年度実施事業(主なもの)

① シェアオフィス拠点の運営支援

シェアオフィスを整備・運営する事業者を支援することで、新しい人や企業の流れを高知県ひいては高知市に呼び込み、関係人口や移住者の増加、企業誘致の拡大につなげる。

(基本目標1 ④-1)



② 鏡・土佐山地域における光ファイバの整備及び利活用

鏡・土佐山地域において光ファイバを整備・利活用することで、中山間地域における健康福祉・子育て分野や農林業分野などの多様な課題を解決し、地域活性化につなげる。

(基本目標2 ⑥-1)

③ 集落活動センターの活動支援

人口減少や高齢化が進行する中山間地域等において、地域住民が主体となって、地域の課題やニーズに対応する様々な地域活動に取り組む「集落活動センター」の拠点整備や活動支援を行い、集落の維持・活性化を図る。

(基本目標4 ⑰-1)



④ 地域おこし協力隊の募集

都市部からの移住促進及び地域力の維持・強化のために、令和4年度からの受入れに向けた募集を行うとともに、受入れ地域とのミスマッチを防ぐための体験プログラムを実施する。

(基本目標2 ⑤-1)

- 市民の感染拡大防止対策や中小企業等の事業継続に向けた支援など、**新しい生活様式に対応した感染症に強いまちづくり**については、総合戦略に登載していない事業であっても、令和2年度に引き続き**新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金**を活用し、本市の政策の全体最適化を図りながら、着実かつ迅速に進める。
- **企業版ふるさと納税**を活用するため、令和2年11月に内閣府から「高知市まち・ひと・しごと創生推進計画」の認定を受けており、今後は企業版ふるさと納税を適用する具体的な事業を検討する。
- 地域での**SDGsの実践**を掲げ、地域資源「鏡川」を最大限活用し、**関係人口**を創出する事業を国に提案しており、引き続き全庁挙げて、SDGs推進を高知市全体のものとする取組や、関係人口を創出・拡大する取組を進める。